

二中 学校便り



善は急げ

—良い行いは急いでもやろう—

E やまと・みなみまちグループ
東大和市立第二中学校
令和8年度 第4号
(令和8年7月13日)
校長 大島 清和

生活委員の「あいさつ運動」

生活指導主任 菊田 舞子

毎週月曜日、水曜日、金曜日は生活委員が昇降口のところで「あいさつ運動」を行っています。当番の生活委員はいつもより早起きしなければならないので、少し大変そうですが、毎週頑張ってくれています。朝登校して下駄箱に靴を入れるとき、「おはようございます」と声をかけてもらったら、みなさんはどう返していますか。

私は4月から第二中学校で二中学生のみなさんと過ごすようになり、この1学期でみなさんの良いところがたくさん見つけられました。人の話をしっかり顔を上げて聞けるところ、授業で問いかけると元気に応えてくれるところ、私が廊下で色鉛筆を落としてしまったとき、一斉に集まって一瞬で拾い集めてくれたこともありました。個人的ではありますが、この1学期を異動したてで慣れない環境の中で明るく過ごせたのは二中学生のおかげです。みなさんに感謝しています。

しかし、そんな二中学生に校内や昇降口で、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」と声をかけたとき、ごく稀に何も返ってこないときがあるのです。そんなときは大体、下を向いて何かを考えながら歩いていたり、遠くにいる友達の方に視線が向いていたりします。私はこの1学期で、みなさんが普段頑張っている様子をたくさん見てきたので、「あ、今は他の事に気を取られていたんだな」と受け止めることができるのですが、もし初対面の人だったらどうでしょう。まだみなさんのことを何も知らない人だったら、あいさつを返さないというのは残念ながらとても印象が下がってしまう行動です。私としても、そのような些細なことで、二中学生の印象が下がってしまうのはとても悔しいと思うのです。

生活委員の「あいさつ運動」に戻りますが、当たり前ですが生活委員は登校してきた一人一人に対してあいさつをしています。「おはようございます」と何度も言ってくれているので、自分に宛てられていると気づきにくいかもしれませんが、そのまま通り過ぎていく人がもしいるならば、ぜひ「おはよう」と返してみてください。恥ずかしくても、人としての大切な礼儀です。

あいさつには学校を動かすほどの大きな力があります。ぜひ、意識してあいさつしてみてくださいね。

学校の様子

小中合同引き渡し訓練

6月4日に小中合同引き渡し訓練を行いました。日本は地震の多発国であり、いつ地震が起きてもおかしくないことや事前の対策が重要であることなどを、日頃から避難訓練等で指導しており、この日も生徒は真剣に訓練に取り組んでいました。また、保護者の皆様もお忙しい中、お子様の引き取りにご協力くださり、ありがとうございました。



私服シンポジウム

6月9日に私服シンポジウムを行いました。学校生活に適切な服装について、生徒自身に考えさせる取組として、私服登校を始めて以来、毎年行っています。今回も活発な議論が行われ、「中学生としての自覚をもつこと」や「TPO を考えること」が重要であるなどの意見が出ていました。



セーフティ教室

6月26日に、東大和警察署より講師をお招きし、セーフティ教室を行いました。近年、大きな問題となっている闇バイトについて、中学生にとっても他人ごとではなく、身近に潜んでいる問題であることや、怪しいと感じた場合には、家族や学校、警察に相談することが大切であることなどを学びました。



講師着任のお知らせ

7月14日より

講師が着任いたします。

講師は、2年の国語の授業を担当い

たします。